

3 加治地区まちづくり構想

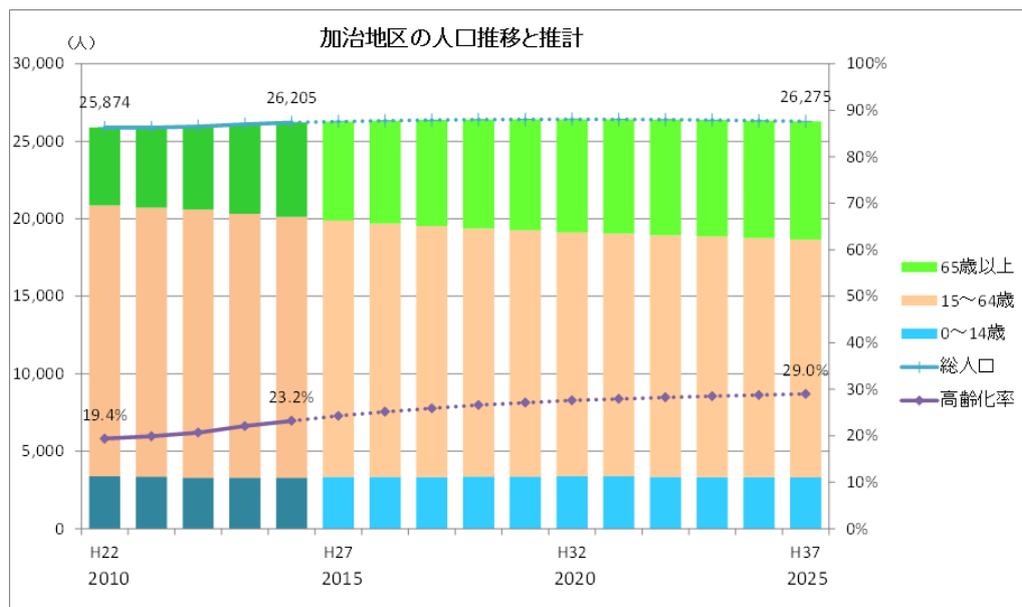


(1) 地区の概況

区域区分	面積	市街化区域 面積	市街化区域 面積割合	DID 面積	DID 面積 割合
市街化区域 市街化調整区域	884.7ha	446.7ha	50.5%	359.4ha	40.6%
人口	世帯数	人口密度	H26 高齢化率	H37 高齢化率	
26,448 人	10,695 世帯	2989.5 人/km ²	23.2%	29.0%	

*人口・世帯：平成28年1月1日時点
 *高齢化率：第5次総振
 *DID（人口集中地区）：平成22年国勢調査
 *市街化区域面積・DID面積：図上面積

■地区別人口（第5次総振）



■地区の特性

- ◆市の南東部に位置し、北に市街地、南に阿須丘陵が広がる
 - ◆西の丘陵部には計画的に開発された美杉台団地が広がる
 - ◆入間川下流部には阿須、岩沢運動公園やあけぼの子ども森公園、大学等の教育施設が整備
 - ◆土地区画整理事業が施行中
- 【自然・地域資源】 入間川・成木川・阿須運動公園・市民体育館・市民球場・あけぼの子ども森公園・美杉台公園・林業センター
- 【歴史・文化遺産】 見光寺・浄心寺・神明神社（大ケヤキ）・西光寺
- 【鉄道駅】 元加治駅（駅舎は入間市）

■地区の課題

- ◆入間川の水量減少やコンクリート護岸による水辺環境の変化
- ◆水と緑を生かしたまちづくり

(2) 地区まちづくりの目標

■まちづくりのキーワード

- ①暮らしやすくうるおいのある計画的なまちづくり
 - ▶農地や湧水の保全と活用
 - ▶計画的な基盤整備
- ②農と森林を育む、景観を大切にしたまちづくり
 - ▶田園環境の保全と活用
- ③丘陵の緑と水辺環境を守り、生かした交流を促すまちづくり
 - ▶阿須丘陵の保全と活用
 - ▶入間川周辺の水辺環境の保全と活用

(3) 地区まちづくりの方針

1) 土地利用の方針

①商業地

- 元加治駅周辺は、駅に近い立地条件を生かし、商業・サービス施設などの集積を図り、賑わいのある市街地形成を目指します。
- 一般県道二本木飯能線の沿道は、商業・サービス施設などの立地を促進し、利便性の高い沿道市街地の形成を図ります。

②住宅地

- 岩沢、笠縫、川寺周辺は、道路、公園など都市基盤の計画的な整備により、良好な住環境が確保された中低層住宅地の形成を図ります。
- 前ヶ貫、矢嵐、征矢町周辺は、周辺環境と調和した低層住宅の立地する緑豊かな住宅地としての市街地形成を図ります。
- 美杉台は、街並みの美しい、環境と共生する緑豊かな住宅地としての保全を図ります。
- 元加治駅周辺は、駅に近い特性を生かして土地の高度利用による中高層住宅の立地を促進し、新たな定住人口の増加を図ります。
- 土地区画整理事業区域は、都市計画道路や公共下水道の整備を優先的に進めます。
- 基盤整備が整った地域については、良好な住環境を保全するとともに、震災に強い安心・安全な住まいづくりを促進します。
- 住宅と工場が混在している地域においては、弊害解消を目指し、用途地域の見直しを検討します。
- 市街地における耕作放棄地や生産緑地の指定解除を見据え、効果的な利活用法を検討します。

③工業地

- 民間施設などの緑化を推進し、街路樹の植栽などにより、緑あふれる快適な空間の形成を促進します。
- 岩沢、川寺の住宅地と工業地が混在する地域は、周辺の住宅地に配慮した工業地としての形成を図るとともに、土地利用の転換時には、周辺の住宅環境と調和する土地利用への誘導を図ります。

④農業ゾーン

- 一般県道富岡入間線沿道は、阿須丘陵（加治丘陵）の自然環境が保全され、緑豊かな景観が形成されるような土地利用の誘導を図ります。
- 既に工場が立地している落合は、周辺の住宅地環境が良好に保たれるよう、住環境との調和に配慮した工業環境の形成を図ります。
- 優良農地の保全と農村集落の生活道路などの環境整備を進め、田園景観や環境と調和した土地利用を図ります。

⑤丘陵ゾーン

- 緑豊かな丘陵と里地里山の自然風景を観光資源として生かし、宮沢湖畔の新たな交流拠点となる「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖 メッツァ」と飯能河原・天覧山周辺、あけぼの子ども森公園周辺を結ぶ「都市回廊空間」を形成し、市民や来訪者・観光客の安らぎ・触れ合いの場としての活用を図ります。
- 市街地を取り囲み、豊かな自然を感じる丘陵地は、虫などの生息する自然環境の保全を図りつつ、丘陵を散策できる自然とのふれあいの場として活用を図ります。

⑥スポーツ・文教ゾーン

- 高等学校や大学などの教育機関や運動公園が集積している阿須地区内の入間川流域周辺は、自然景観の良いスポーツ・文教ゾーンとして、引き続き良好な環境の維持・保全を図ります。

【まちづくりのメニュー】

- ・土地区画整理事業の推進
- ・耕作放棄地等の有効活用
- ・優良農地の保全と活用
- ・緑地の積極的な活用
- ・水と緑の交流拠点の形成

2) 交通体系の方針

①地域の移動手段

- 交通事業者と連携して、重要な移動手段である路線バスの維持確保及び利用促進に努めます。
- 宮沢湖畔の「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖 メッツァ」を含む「都市回廊空間」と市内鉄道駅を結ぶ公共交通機関の整備について、関係機関と連携して検討します。

②道路

- 市が指定した災害時の緊急輸送道路等、優先順位を明確にした幹線道路の整備を進めます。
- 阿須小久保線の早期完成を図るとともに、東西に走る久下六道線へのアクセス性の向上を図り、市街地の渋滞解消や安全性の向上を図ります。
- 阿須小久保線の整備に合わせ、川寺岩沢線の整備を進め、一般県道二本木飯能線へのアクセス性の向上を図ります。
- 施行中の岩沢北部及び岩沢南部土地区画整理事業に合わせ、元加治駅北口駅前通り線や元加治駅南口駅前通り線などの整備を進めます。
- 一般県道二本木飯能線、一般県道富岡入間線を都市間幹線道路と位置づけ、車道の拡幅や歩道設置など改良整備を促進し、安全な道路空間の形成を図ります。
- 市道第1地区第2235号線を地域間幹線道路と位置づけ、車道の拡幅などによる走行性の向上を図ります。
- 市街地における交通手段の柱として徒歩と自転車利用を位置づけ、安全で快適に利用できる歩行者系空間の整備を図ります。
- 都市計画道路の歩道や入間川の河川沿いなどを活用し、主な公園や公共公益施設をネットワークする歩行者・自転車のための空間の確保を図ります。
- 元加治駅南口の整備について、関係機関と連携して検討します。
- 長期にわたって整備が行われていない都市計画道路については、社会状況の変化等による必要性などを再検証し、適切な見直しを進めます。

【まちづくりのメニュー】

- ・宮沢湖周辺と駅、「都市回廊空間」を結ぶ公共交通機関の整備
- ・長期にわたって整備が行われていない都市計画道路の再検証
- ・阿須小久保線の早期整備
- ・歩行者・自転車のための空間の確保
- ・回遊性のある歩行者・自転車ネットワークの形成

3) 水と緑のまちづくりの方針

①入間川・成木川

- 曼珠沙華などが咲く自然環境を生かした水辺空間の形成を図るとともに、入間市へ至るサイクリングロードの設置を促進します。
- 市民に利用されているスポーツ・レクリエーション空間の充実を図るとともに、市外からの来訪者も楽しめる河川空間としての整備を進めます。
- 飯能河原から入間市に至る入間川沿いや成木川沿いに水辺の散策ルートの形成を図り、親水性の向上を推進します。

②あけぼの子ども森公園周辺

- 阿須運動公園・あけぼの子ども森公園周辺を「水と緑の交流拠点」として位置づけ、市民の憩いやスポーツ・レクリエーションの中心ゾーンとしての形成を図ります。
- 阿須運動公園に至る水辺空間やあけぼの子ども森公園周辺の散策ルートを充実し、市民の交流を促す環境形成を推進します。

③水と緑のネットワーク

- 宮沢湖畔の「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖 メツア」を新しい交流の核として市街地を囲むように点在する交流スポットをつなぐ「都市回廊空間」を新たに形成します。
- 入間川、成木川や赤城神社、長沢寺など地域の名所・史跡などを巡り、元加治駅と飯能駅を結ぶルートや飯能地区、南高麗地区にもつながるルートを自然・歴史・文化を楽しむ散歩道として設定し、回遊性のあるネットワーク形成を図ります。
- 阿須丘陵（加治丘陵）のルートについては、やまなみの眺望を楽しむ場の確保を図り、尾根筋からの眺望を生かした道づくりを検討します。

④公園・緑地の整備方針

- 公園の種類や機能に応じた整備を図るとともに、利用圏域に配慮してバランスのとれた配置・整備を進めます。
- あけぼの子ども森公園の魅力のさらなる向上を図るための整備を図ります。
- 魅力スポットを回遊できる「都市回廊空間」周辺について、既存の緑地等を生かした整備等に市民・関係者等と連携して取り組みます。
- 観光客が安全・快適に楽しむことができるよう、指導標の設置やサイクリング環境の整備、ハイキングコース、観光トイレ等の整備を推進します。

【まちづくりのメニュー】

- ・親水性の高い水辺環境の整備と「水と緑の交流拠点」の展開
- ・あけぼの子ども森公園周辺等の回遊性のある散策ルートを充実
- ・「都市回廊空間」と連携した、公園の配置と整備
- ・水と緑の交流ネットワークの形成

4) 景観に配慮したまちづくりの方針

- 森林文化都市にふさわしい自然環境と調和する街並み景観の形成を検討します。
- 西川材を使用した住宅等の建築や板塀の設置に対し補助金を交付し、木のぬくもりや地域の個性を感じる景観形成を図ります。

【まちづくりのメニュー】

- ・自然環境と調和する街並み景観の形成
- ・歴史的建造物や西川材を利用した景観まちづくり

5) 安心・安全なまちづくりの方針

- まちの耐震・不燃化をはじめ、安全な避難行動や災害応急活動が円滑に行える都市空間整備など、防災まちづくりを推進し、防火地域・準防火地域の指定の検討をします。
- 緊急輸送道路沿道の建物の耐震・不燃化を促進し、緊急用の輸送道路や避難路を確保します。
- 上下水道・電気・ガスなどの老朽管の改築や更新を促し、ライフラインの震災時における耐震性を確保します。
- 浸水被害を防ぐため、公共下水道（雨水）や既存施設の改良など、効率的な雨水処理施設の整備を図ります。
- 地区行政センターほか地区内にある公共施設等の将来の活用形態や適正規模を見据え、地域住民の生活・活動拠点の整備・配置を検討します。
- 空き家に対して、市と民間、地域が連携し、地域に適した空き家の利活用を図ります。また空き家の実態把握に努め、維持管理を所有者に促すなど、適切な対応を図ります。
- 女性や若い世代が安心して子育てができるよう、地域コミュニティ機能を強化し、地域全体での子育て支援を図ります。
- 「第2次飯能市環境基本計画」に基づき、太陽光や太陽熱、バイオマス等の再生可能エネルギーの住宅や公共施設への導入を促進します。

【まちづくりのメニュー】

- ・防災まちづくりの推進と防火地域・準防火地域の指定の検討
- ・歩車分離や交通安全施設の整備
- ・上下水道・電気・ガスなどの老朽管の改築や更新
- ・緊急輸送道路沿道の建物の耐震・不燃化を促進
- ・公共下水道（雨水）や既存施設の改良

■加治地区まちづくり方針図

